

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	男女共同参画推進事業										事業コード	030101730302		
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立					
	施策名	1 男女共同参画の推進								施策コード	721			
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室						所属長	大西 浩					
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	112・113	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	第4次男女共同参画計画計画「はばたきプラン2021」、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画(第3次)				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、福知山市男女共同参画推進条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	男女共同参画社会の実現をめざして、福知山市男女共同参画推進条例に基づき策定した「第4次福知山市男女共同参画計画 はばたきプラン2021」の趣旨を広く市民に啓発し、同計画に基づく施策を推進する。					
対象者	市民		対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,664		2,030		1,770		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,664		2,030		1,770		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,344		1,711		1,271		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	320		319		499		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 7										
	② 配当予算	1,664		2,023										
	③ 執行額	959		1,459										
	④ 執行率	57.6%		72.1%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	2.31	/	0.00	2.19	/	0.00	/						
	② 概算人件費	18,480		17,520										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		19,439		18,979										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	人権問題啓発事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	408		決算附属資料	23		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	審議会・委員会等の女性委員割合	%	30	/	30	30.6	/	30		/	32	35
	セミナー、講座への参加者数	人	1218	/	1050	1116	/	1200	1054	/	1200	1500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	講座等開催回数	回	10	/	16	12	/	16	13	/	15	20
	単位あたりコスト		93.6		79.9		112.2					
	情報紙発行部数	部	720	/	2000	10	/	2000	600	/	2000	2000
		単位あたりコスト	1.3		0.0		2.4					

男女共同参画推進事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度 ¹ の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・パートナーの呼び方、中小企業の取組事例、ビジネスケアラ、女性のマネー講座、起業をめざす女性のワークショップなど、様々なテーマでセミナーを開催した。 ・若年期から対等な人間関係を築くこと、自分も他人も大切にすることを学んでもらうため、市内の高校にてデートDV防止ワークショップを実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・セミナー等の開催や街頭啓発にかかる費用は、府の補助金を活用している。 ・市が事務局を務める市民団体や個人のネットワーク(はばたきネットワーク)と協働で学習会や街頭啓発を行い、取組をより広く市民に呼びかけることができた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・様々なテーマでセミナーを開催しており、多様な観点から男女共同参画について考える機会となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・セミナーについては、開催日時を平日、土日、夜間など様々とし、多くの人に参加してもらえるようにした。 ・情報誌は、より多くの市民に男女共同参画センターの取組を知ってもらえるよう、民間の事業所にも配布した。内容もセミナーのテーマと合わせることで、セミナー参加者の増加に繋がればと考えたが、令和5年度については成果にはあらわれなかった。 ・成果実績において、「審議会、委員会等の女性委員の割合」は微減傾向にあるが、女性委員がいない(0人)の審議会数については前年度の8審議会から6審議会になっているという状況を把握している。		
改 善 策	・セミナーについては、開催曜日や時間の工夫だけではなく、関連団体と共催するなどし、集客に努める。 ・情報誌の配布先は、商業施設、遊興施設、飲食店など、市民が多く利用する場所に置いてもらえるよう開拓する。 ・今後も性別に関わらずに活躍できることをめざし、組織への働きかけや啓発・学習会を進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	男女共同参画保護救済事業										事業コード	030101730303				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立							
	施策名	1 男女共同参画の推進								施策コード	721					
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室						所属長	大西 浩							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	113		頁
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	第4次男女共同参画計画計画「はばたきプラン2021」、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画(第3次)					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、福知山市男女共同参画推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	DVや性暴力などの女性に対する暴力は重大な人権侵害であり、被害者の保護・救済と暴力の防止に向けて積極的な予防啓発を推進する。併せて、相談体制の充実や関係機関との連携強化を図り、迅速かつ適切な支援を実施する。					
対象者	市民		対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,803		1,354		1,386		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		1,803		1,354		1,386		0		
予算財源内訳	① 一般財源	1,803		1,354		1,386		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		21						
	② 配当予算	1,803		1,375						
	③ 執行額	1,250		1,311						
	④ 執行率	69.3%		95.3%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.19	/	0.00	1.14	/	0.00	/		
	② 概算人件費	9,520		9,120						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,770		10,431						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	専門相談員人数	人	52	/	74	46	/	74		/	60
	(女性カウンセラー、法律)		/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	女性の相談人数(職員対応)	人	100	/	150	129	/	150	170	/	170
	単位あたりコスト		41.0		9.7		7.7				
	性別にこだわらない相談及び男性電話相談の人数	人	10	/	10	3	1	/	10	男女共同参画保護救済事業	
	単位あたりコスト				9520.0		187.3				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度 ¹ の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	- 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か - 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か - 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	- 女性相談、性別にこだわらない相談、女性の弁護士による法律相談、男性の電話相談を実施した。 - 専門相談のほか、随時職員が相談に対応し、必要に応じて庁内の関係部署、外部の関係機関と連携をとり、支援を実施した。	☒ 高い
効 率 性	- 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か - 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか - コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	専門相談については、事前の予約がないときも、当日の相談に備えて相談員が待機をしており、急な相談にも対応できている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	- 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか - 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか - 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	- より多くの市民に利用してもらえるよう、市の関連施設だけではなく、民間の商業施設にもチラシの貼り出しを依頼した。 - 職員が随時相談に対応することで、次の段階として女性相談や法律相談への繋がりができている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	- 庁内外の関係部署や関係機関との月1回の定例会議や、日常的な相談、情報共有をとおして顔の見える関係性を築き、支援を実施できた。 - 複雑、複合化した相談にも対応できるよう、専門相談員の配置や職員のスキルアップが必要。 - 女性相談は相談の予約がないときもあり、広報に工夫が必要。 - 性別にこだわらない相談及び男性電話の相談者は少ない人数ではあるが、男女共同参画の考えを踏まえ、性的マイノリティにとっての相談窓口が常設されていることが重要である。今後も誰もが相談しやすい窓口の工夫と、その啓発を進めることが必要。		
改 善 策	- 女性相談は、全22回のうち令和6年度は土曜日に10回開催し、利用状況を確認する。 - 相談のチラシを商業施設、遊興施設など、民間の事業所等で配布してもらえるよう、依頼していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	婦人教育事業							事業コード	100501630235					
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち					政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立						
	施策名	1 男女共同参画の推進						施策コード	721					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課					所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	226	頁
計画期間	開始年度	昭和21年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	-													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	人権尊重を基盤にして、男女共同参画社会の実現に向けて、学習・実践を進める。					
対象者	婦人会会員		対象者数	139	単位あたりコスト	11.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	351		351		361		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		351		351		361		0						
予算財源内訳	① 一般財源	351		351		361		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 6		20										
	② 配当予算	345		371										
	③ 執行額	344		371										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.02	/	0.40	0.04	/	0.30	/						
	② 概算人件費	1,280		1,160										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,624		1,531										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	市民参加者数	人	250	/ 300	447	/ 300	436	/ 300	/	300	300
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	活動回数	回	6	/ 8	8	/ 8	9	/ 8	/	9	8
	単位あたりコスト		45.7		43.0		41.2				
			/		5		/		/		婦人教育事業
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・連合婦人会の会員が各地域の役員や市の各種団体などの委員として活動方針や運営についての決定等にかかわった。女性の立場からの意見が反映されることは重要である。 ・人権問題や環境問題、防災活動など、今日的課題に係わる研修は社会参加への入り口となる学びの場であった。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・補助金だけでなく、受益者も会費や参加費等を負担しながら事業運営を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・「母の日大会」「活動交流フォーラム」を含め、生涯学習講座は計画していた年間8回の事業を全て実施できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○女性団体として、市の各種事業に積極的に携わり、活動を推進する力となっている。 ○人権問題や地球温暖化対策、防災研修等の今日的課題解決に向けた研修は、女性の資質及び地位向上に役立つものとなっている。 ○万全なコロナ対策のもと、計画どおり事業を行い、会員のよいコミュニケーションの場となった。		
改 善 策	○今後も、関係機関と連携のもと、地域振興に向けた連合婦人会の諸活動を様々な場面で積極的に発信する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--